

第 16 回 松戸駅周辺まちづくり委員会 議事録

1. 日 時 令和 6 年 3 月 29 日（金）10 時 00 分 から 12 時 00 分まで

2. 場 所 松戸市役所 新館 7 階 大会議室

3. 出席者

出席委員 13 名（別紙 委員名簿のとおり）

欠席委員 長江委員、山下委員、松永委員

事 務 局 都市再生部長、街づくり部長、
都市再生部審議監、街づくり部審議監
松戸駅周辺整備振興課長、公園緑地課長、外 9 名

傍 聴 者 1 名

4. 次第

(1) 諸般の報告

庁舎整備（案）の説明について

(2) 議題

新拠点ゾーン パブリックスペースから考える、松戸中央公園及び相模台公園の
リニューアルについて

① 水・みどり・歴史部会におけるこれまでの活動報告

② 水・みどり・歴史部会における審議内容の報告

③ 全体スケジュールについて

(3) その他

松戸駅周辺まちづくりビジョンの策定について

5. 配付資料

・ 委員会次第

・ 委員名簿

・ 席次

・ 諸般の報告の資料

庁舎整備（案）の説明について

・ 議題の資料

新松戸中央公園・相模台公園のリニューアル検討の過程【資料 1】

まちづくりワークショップ第 1 回・第 2 回 ニュースペーパー【資料 2-1】

まちづくりワークショップ第 3 回 ニュースペーパー【資料 2-2】

まちづくりワークショップ第 4 回 ニュースペーパー【資料 2-3】

松戸中央公園・相模台公園アンケート調査 1 結果概要（一般）【資料 3-1】

松戸中央公園・相模台公園アンケート調査 1 結果概要（相模台小）【資料 3-2】

松戸中央公園・相模台公園アンケート調査 2 結果概要【資料 3-3】

松戸中央公園・相模台公園アンケート調査票【参考資料 1】

松戸中央公園・相模台公園アンケート調査票【参考資料 2】

水・みどり・歴史部会の会議内容【資料 4-1】

水・みどり・歴史部会名簿【資料 4-2】

全体スケジュール【資料 5】

・ その他の資料

松戸駅周辺まちづくりビジョンの策定について【報告資料】

開会

司会

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

本日の司会を務めさせていただきます、松戸駅周辺整備振興課の稲吉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。会議の開催にあたりまして、2 点ご連絡がございます。

1 点目は、本日の会議は審議会の議事録作成のための補助資料として録音させていただきます。ご発言の際はお名前をおっしゃっていただき、ご発言ください。

2 点目はご発言の際、目の前にあるマイクのスイッチを押してからお話してください。終わりましたらスイッチを押してお切りください。それでははじめに、人事異動等により委員の交代がありましたので、新しい委員を 3 名ご紹介させていただきます。

お手元に配付しております上から 2 枚目の資料、松戸駅周辺まちづくり委員会委員名簿をご覧ください。1 人目は、松戸市町会・自治会連合会本庁地区長の田中孝様でございます。2 人目は松戸商工会議所専務理事の入江和彦様でございます。3 人目は千葉県東葛飾土木事務所次長の宇野晃一様でございます。以上 3 名の方に新たに委員をお引き受けいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。恐れ入りますが、田中委員、入江委員、宇野委員から一言ずついただけますでしょうか。田中委員よりお願いいたします。

田中委員

本庁地区地区長の田中でございます。よろしくお願いいたします。少しでも役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

司会

田中委員ありがとうございました。続きまして入江委員お願いいたします。

入江委員

只今ご紹介いただきました、松戸商工会議所の入江ともうします。商工会議所では、松戸駅周辺のまちづくり、一刻も早くやっていただきたいと願っておりますので、お役に立てますよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

司会

入江委員、ありがとうございました。最後に宇野委員お願いいたします。

宇野委員

県の東葛飾土木事務所次長の宇野でございます。松戸市内の県道や県の河川の整備、維持管理をしております。一緒に良いまちづくりを検討していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

司会

宇野委員、ありがとうございました。では、開催に先立ちまして、都市再生部長よりご挨拶申し上げます。

都市再生部長

皆さん、おはようございます。都市再生部長の渡部優樹でございます。

本日は年度末の大変お忙しい中、また非常に足元の悪い中、ご出席賜り、誠にありがとうございます。また、皆様におかれましては日頃より本市の発展に様々な方面からご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、令和４年７月に諮問させていただきました、新拠点ゾーンパブリックスペースから考える松戸中央公園および相模台公園のリニューアルにつきまして、本委員会の委員の方々に組織されております水・みどり・歴史部会においてこれまでご審議をいただいております。

この後、事務局からこれまでの活動報告及び部会での審議内容についてご説明させていただきます。

松戸中央公園及び相模台公園のリニューアルは、新拠点ゾーンまちづくりを行う上で大変重要な位置付けになるものでございます。

皆様から忌憚のないご意見を賜り、進めていきたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

審議に入る前に、私の方から新拠点ゾーン整備事業の一環であります市役所機能再編整備事業の進捗状況についてご報告させていただきます。

すでにご存じのことと存じますが、新拠点ゾーンの南側に位置する旧法務局の国有地を、市役所用地として取得するため、当該財産の取得議案を昨年の 5 月の臨時会で提案いたしましたところ、残念ながら、敷地が狭いなどの理由から市議会のご賛同を得ることができませんでした。

これを受け、本年 1 月 31 日に開催されました庁舎整備に関する特別委員会にて、新たな庁舎整備案であります市役所機能段階的整備案をご提案したところでございます。詳しい内容につきましては、後ほど事務局の方からご説明させていただきたいと存じます。

最後に、本日の次第のその他の事項といたしまして、来年度より実施いたします松戸駅周辺まちづくりビジョンの策定について事務局からご報告させていただきます。

本事業は、新拠点ゾーンを含む松戸駅周辺において、民間の活力によるまちづくりを誘導することで街の賑わいの再生を目指し、ハード施策と合わせてソフト施策も並行して進めていくものでございます。

今後も、松戸駅周辺のまちづくりについて様々な事業に取り組んでまいりますので、委員の皆様には引き続きお力添えをいただきたいと思いますと思っております。

簡単でございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いします。

司会

では、委員会を開催する前に、お手元に配付した資料の確認をいたします。本日の配付資料ですが、はじめに 1 枚目は本日の次第でございます。2 枚目は松戸駅周辺まちづくり委員会委員名簿です。3 枚目は「諸般の報告」といたしまして、庁舎整備案の説明資料です。

次の資料から本日の「議題」の資料になります。右上に番号を記載しておりますが、【資料 1】から【資料 3】、次に【参考資料 1、2】、次に【資料 4、5】、最後に【報告資料 1、2】がございます。資料の不足等がございますか。

では、ここから委員会の議事につきましては、松戸駅周辺まちづくり委員会条例第 7 条第 1 項により、横張委員長により議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

横張委員長

ありがとうございます。ただいまご紹介いただきました横張でございます。今日は、お足元の悪い中ご参集いただきましてありがとうございます。

ただいまより第 16 回松戸駅周辺まちづくり委員会を開催いたします。でははじめに本

日の出席状況につきまして、事務局から報告をお願いいたします。

委員の出席状況報告

司会

本日の委員会の出席状況につきまして報告いたします。本日の委員会は、委員 16 名のうち 13 名の委員の出席をいただいております。従いまして、松戸駅周辺まちづくり委員会条例第 7 条第 2 項の規定を満たす過半数の出席をいただいておりますので、本日の委員会は成立しておりますことをご報告いたします。

議事録署名人の指名

横張委員長

はい、ありがとうございました。では続きまして、本会議の署名人についてございますけれども、関係機関および行政機関を除いた、委員の方々から私の方で指名をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

はい、ありがとうございます。それでは、議事録署名人につきましては、本日は秋田委員と田中委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

会議の公開、傍聴の許可

はい、ありがとうございます。では、よろしく申し上げます。では、委員会に先立ちまして、会議の公開について確認をいたします。当委員会は、松戸駅周辺まちづくり委員会の運営に関する要領第 3 条により、原則、会議は公開としております。それでは、公開の可否を確認するにあたり、本日の議事について、事務局より概要の説明をお願いいたします。

司会

それでは、本日の議題の概要をご説明いたします。お手元の次第をご覧ください。はじめ

に、次第の、「1. 諸般の報告」といたしまして、「庁舎整備（案）について」ご説明させていただきます。こちらは、本日の審議に関連性がございましたので、議題に入る前にご説明させていただきます。

次に、「2. 議題」についてですが、令和4年7月に諮問させていただきました、「新拠点ゾーンパブリックスペースから考える、松戸中央公園及び相模台公園のリニューアル」につきまして、本日の委員会では、(1) 水・みどり・歴史部会におけるこれまでの活動報告、(2) 水・みどり・歴史部会における審議内容の報告、(3) 全体のスケジュールについてご説明させていただき、これらにつきまして、ご審議いただきます。

最後に、「3. その他」としまして、「松戸駅周辺まちづくりビジョンの策定について」ご報告いたします。概要説明は以上となります。

横張委員長

はい、ありがとうございます。ということで、本日の議事でございますけど、事務局からご説明がありましたが、特段非公開にしなければならない案件はないかと思いますし、本日の委員会につきまして、公開及び傍聴に関することについて許可することによってよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

はい、ありがとうございます。

では、特にご意見ございませんようですので、本日の委員会は公開といたします。では、事務局に本日の傍聴人についての報告をお願いします。

司会

本日の傍聴の申し出について、報告いたします。本日の傍聴の申し出は1名でございます。松戸駅周辺まちづくり委員会の傍聴に関する要領の規定第3条に基づき、傍聴人の定員は会場の広さで決定できると定められていることから、今回は全員傍聴可能と判断いたしました。また、報道関係者より傍聴の申し出がございました。傍聴の申し出は1名でございます。よって、全員の傍聴を許可してよろしいでしょうか。

横張委員長

では、只今ご報告ありましたとおり、傍聴人が1名、それから報道関係が1名の申し出がありましたので、申し出人全員の傍聴を許可させていただきたいと思います。

司会

はい、ありがとうございます。

また、本日、1 名の方より撮影の要望がございました。これにつきまして、許可してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

はい、ありがとうございます。

横張委員長

その撮影の許可ということでございますけれども、これ会議の冒頭だけですね、撮影については。

司会

はい、そうでございます。

横張委員長

ということでございますので、許可してよろしいですね。はい。では、許可するというようにさせていただきますと思います。

司会

それでは、傍聴人の入室をお願いいたします。

では、傍聴者の方々へ注意事項をお伝えいたします。松戸駅周辺まちづくり委員会の傍聴に関する要領の第 5 条に基づき、会議開催中は静粛に傍聴することとし、拍手その他の方法により、公然と可否を表明しないことを遵守してください。また、撮影につきましては許可を得ることができましたので、撮影の要請をされた方は、議事に入る前に撮影時間を設けますので、その際に撮影をお願いいたします。傍聴者の注意事項は以上です。

では、これから撮影の時間を設けますので、撮影をしてください。

撮影終了

諸般の報告

横張委員長

それでは、ここからは次第に従って議事を進行してまいりたいと思います。

本日、時間はたっぷりございますし、多くの委員の方々にご出席いただいておりますので、ぜひ活発なご意見をいただければと思います。

では事務局から「庁舎整備（案）の説明について」お願いいたします。

松戸駅周辺整備振興課長

松戸駅周辺整備振興課の川鍋です。それでは、令和6年1月31日に開催されました「庁舎整備に関する特別委員会」においてご説明させて頂いた、市役所機能段階的整備案について、私の方からこの場をお借りしましてご説明させていただきます。お手元に、「庁舎整備（案）の説明について」の資料をご用意ください。新庁舎整備につきましては、昨年5月臨時会における財産取得議案の提案以降、これまで新たな案の検討を進めてまいりました。この案につきましては、段階的な庁舎整備案であり、その考え方及び内容についてはお手元の資料のとおりとなります。それでは、表紙をおめくりいただき、2枚目の資料1市役所機能段階的整備案（概要）をご覧ください。構成といたしましては「1 整備案の考え方」「2 整備案の内容」とさせていただきます。まず、「1 整備案の考え方」の緑色の枠内について、シンプルに3点、記載をさせていただきます。順に申し上げます。

まず1点目、「喫緊の課題となっている、耐震性が確保できていない本館、及び新館の対応を優先し、第一段階として整備するものでございます。これを「第1ステップ」としております。

続きまして2点目、「物価高騰、足下、建設コストにつきましても約3割上昇などがみられておりますが、こうしたことに起因した事業環境の変化や、将来的な不透明感を踏まえまして、第1ステップにおいて本館・新館を、また第2ステップにおいて、本館・新館以外と、段階的に整備を行う計画であります。

そして3点目、そのためには、新拠点ゾーン南側国有地を、早期に取得させていただきたい、このような考え方でございます。

次に、「2 整備案の内容」の枠内の記載につきましては、3枚目にお付けしております資料2の概略図とあわせて、ご覧いただきたいと存じます。第1ステップ、第2ステップについて、その内容を記載しております。まずは、第1ステップとして、こちらも、シンプルに3点となっております。

まず、①といたしまして、新拠点ゾーン南側国有地に約2万㎡の新庁舎を建設し、現本館、現新館分のスペースを確保いたします。次に、②として、新庁舎への機能移転後、現本館、及び現新館につきましては、供用終了といたします。次に、③として、現庁舎のうち、一定の耐震性が確保されている議会棟と別館につきましては、小規模な改修以外、基本的にその

まま使用いたします。また、③の下、「※印の部分」に記載のとおり、新庁舎、及び現庁舎における、具体の機能分担につきましては、今後作成を予定しております、新庁舎の「基本計画」の中で検討を行い、市議会の皆様とも調整を図らせていただいた後に、決定してまいります。なお、**資料2**の右側に記載させていただいておりますとおり、現本館・新館につきましては、財政負担を見ながら、除却等の検討を行ってまいります。

次に、第2ステップでございます。資料記載のとおり、本館・新館以外の庁舎の整備方針につきましては、他の公共施設の整備方針と併せて検討してまいります。この「他の公共施設」とは、具体的には、松戸駅周辺に点在しております施設のうち、新拠点ゾーン整備基本計画において、新拠点ゾーン内での整備対象としております市民会館、図書館のほか、ゆうまつど、勤労会館、さらには中央保健福祉センター、衛生会館を、それぞれ想定しているところでございます。

最後に、今後のスケジュールなどについて、ご説明申し上げます。庁舎整備案を段階的な整備案としたことから、国に対し「取得要望理由書」を令和6年2月27日付にて提出のうえ、現在、その内容について審議いただいているところでございます。また、今月25日まで開催しておりました、令和6年3月定例会では、この段階的整備案をご理解いただいたうえで、新拠点ゾーン南側国有地に係る用地購入費、不動産鑑定委託料について、令和6年度当初予算としてご承認いただいたところでございます。今後につきましては、国との協議が整い次第、財産取得議案を再提案したいと考えております。ご説明は、以上です。

横張委員長

はい、ありがとうございました。只今の事務局より庁舎整備案について説明がございましたけれども、審議中の公園の再整備を審議する上で関連性が高いだろうということで、冒頭に諸般の報告ということでご説明をいただいたところでございます。庁舎整備そのものにつきましては庁舎整備検討委員会がございまして、そちらで審議をしているということでございますので、公園の整備に関する議論に関連するご質問等がございましたらお受けしたいと思っております。

(質問なし)

本日の議題

よろしいですか。今、こういう形で庁舎整備につきましては段階的に進めようとしていることを踏まえていただきながら、では、本日のメインでございしますが、「2.議題」に入ってまいりたいと思っております。それでは、(1)水・みどり・歴史部会におけるこれまでの活動報

告について説明をお願いします。

公園緑地課長

水・みどり・歴史部会のこれまでの活動報告をいたします。

令和4年7月28日に本委員会に対しまして、「新拠点ゾーン パブリックスペースから考える松戸中央公園及び、相模台公園のリニューアルについて」を諮問させていただき、その後、これまでに水・みどり・歴史部会を3回開催してまいりました。

市民意見を聴取するために行った、アンケート調査やワークショップにつきましては、部会でのご意見をいただきながら進めてきたところでございます。では、これまでの活動についてご説明いたします。

お手元の【資料1】『新拠点ゾーンパブリックスペースから考える松戸中央公園・相模台公園のリニューアル検討の過程』というA3サイズの資料をご覧ください。

この資料は、平成27年6月の松戸駅周辺まちづくり基本構想の策定からはじまり、令和4年度の松戸中央公園・相模台公園のリニューアルの検討までの一連の流れをまとめたものです。

なお、新拠点ゾーン整備基本計画を作成する際には、資料の左下にありますように、令和元年に、『MATSUDOING 2050』と題して、6回のワークショップを実施しております。

このワークショップでの議論の成果を踏まえ、新拠点ゾーン整備基本計画を令和3年に策定し、この計画に基づいて、令和4年度より公園の再整備について検討を行っているところでございます。

では、令和4年度に、実施した活動についてご説明いたします。令和4年度は、資料の中央にございますとおり、新拠点ゾーン内にある松戸中央公園、相模台公園を対象に、『新拠点ゾーンパブリックスペースから考える松戸中央公園・相模台公園のリニューアル』と題して、4回のワークショップを実施しております。また併せて市民アンケート調査も2回実施しております。

なお、ワークショップやアンケート調査につきましては、委員長の横張先生をはじめ、千葉大学園芸学部の方、研究室の学生の方々にご協力いただき、特に学生の方々には、実施する内容や、その進め方についてなど、全般的に主体となって考えていただき、実施いたしました。

では、はじめにワークショップ1回目と2回目についてご説明いたします。【資料2-1】をご覧ください。1回目と2回目につきましては、新拠点ゾーンの近隣にある、相模台小学校の6年生の児童(117名)を対象に、「まちづくりワークショップ」を開催しました。

このワークショップは、松戸駅周辺のまちづくりと新拠点ゾーンの公園再整備に向けて、小学生が街に対してどのような認識を持っているのか調査することを目的として、行いました。小学校の総合の授業のなかで行ったのですが、はじめに計4コマの事前授業を行い、

まちづくりとは何かを学び、保護者へインタビューをし、現在の松戸駅周辺の調査分析を行いました。保護者からは、子どもと過ごすときに自然を感じたいという視点や、文化教育的な視点が見られました。

事前授業にてまちづくりに関する知識をつけ、その後に行ったワークショップ第1回では、千葉大学や聖徳大学の学生さんたちと一緒にまちあるきを行い、街の特徴と課題の把握をしました。

次にワークショップ第2回では、調査をもとに、小学生が「まちづくりプラン」を考えて発表会形式で提案をしてもらいました。

その結果をまとめたものは【資料1】の中央と【資料2-1】の裏面にあるとおりですが、どのようにまちづくりを行うべきかにつきましては、生きものや緑などの自然とより触れ合える体験ができるように、賑わいと緑を共存させることや、イベントの実施などにより、多世代が交流できる空間をつくること、またユニバーサルデザインが施されたまちづくりをすることなど、といった意見が出ました。

次に【資料2-2、2-3】をお手元にご用意ください。【資料2-2】が第3回目のワークショップ、【資料2-3】が第4回目のワークショップの報告資料です。

3回目、4回目のワークショップでは、街の新しい「使い方」を話し合い、新拠点ゾーンの公園の「あり方」や、新しい「使い方」を見出すことを目的に行いました。

なお、公園周辺の施設配置の計画がまだ明確でないため、公園を新拠点ゾーン内のパブリックスペースと捉え、ここをどのような場所にしたいか、またこの場所をどのように利活用できるかを主題にしております。

次に、【資料2-2】第3回目のワークショップについてご報告いたします。3回目は、新拠点ゾーン周辺の「暮らし」に関わる地元自治会の皆様と、地元の大学生、計27名にご参加いただきました。

その中で、日々の暮らし、安全安心を軸として、日常生活を重視した「使い方」について多くの意見が出ました。

松戸中央公園や相模台公園の既存樹は、残すもの、更新するものをしっかり整理しながら大事に継承することや、ゾーン内に賑わいと落ち着きの空間を作り、多様な使い方に対応できるようにする、といったご意見を頂いております。

次に【資料2-3】第4回のワークショップについてご報告いたします。4回目は、新拠点ゾーン周辺の「賑わい」に関わる松戸駅周辺事業者、まちづくり団体の皆様と、地元の大学生、計20名にご参加いただきました。

賑わいづくりの視点から、パブリックスペースを有効活用したい人々の交流のための工夫について多くの意見が出ました。

持続可能な広場の管理運営方法や市民が「やりたい」と思ったことを実現するためのサポートなど、仕組みづくりにまで踏み込んで議論され、イベント等で利用ができるようインフラ設備を整えることや、公園をより活用するための仕組みづくり、さらに活動と賑わいの拠

点とするためのゾーニングに関する意見や、災害発生時等の対策拠点として有効に活用するため日常利用を促進させることが大切である、などといった意見が出されました。

以上が、ワークショップの報告です。続きまして、アンケート調査の報告をいたします。アンケート調査は 2 回実施しており、1 回目は、利用の現状等を把握することを目的に行い、2 回目は新しい公園に求める機能を把握するために行いました。

はじめに、アンケート調査 1 の結果概要からご説明いたします。【資料 3-1、3-2】【参考資料 1】をお手元にご用意ください。【資料 3-1】は、アンケート調査 1 の一般、大人の集計結果です。【資料 3-2】は、新拠点ゾーンの近隣にある、相模台小学校の 3 年生から 6 年生の児童の集計結果です。【参考資料 1】は、アンケート調査の調査票です。では、【資料 3-1】と【資料 3-2】をご覧ください。

アンケート調査 1 は、利用頻度や目的、気に入っているところ、改善すべきと思うところなどについて、現状の把握のために行っております。調査対象と方法についてですが、無作為に抽出した近隣住民 1000 人に郵送アンケートを実施すると合わせて、7/15～26 の 12 日間、現地にて公園利用者アンケートを行いました。回答数は、一般が 715 件、小学生が 417 件、合計で 1,132 件でした。資料の赤字の部分がアンケート調査の主な意見です。

この結果から、まず松戸中央公園については近隣の方の散歩や、駅へのアクセスのための通り抜けの利用が多いこと、トイレ等施設が老朽化していること、また相模台公園は、現在台地上から入れず、下から階段でしかアクセスできないため行ったことがない人が多いこと、さらに暗くて怖いこと、また良い点としては静かで桜を楽しめる穴場であること等が挙げられていました。

次に、アンケート調査 2 の結果概要についてご説明いたします。【資料 3-3】と参考資料 2 をお手元にご用意ください。【資料 3-3】はアンケート調査の結果概要です。参考資料 2 は、アンケート調査の調査票です。

このアンケート調査は、千葉大学園芸学部の武田先生と研究室の学生の方にご協力いただき、アンケート内容の検討から結果の分析まで、全般的に行っていただきました。

では概要をご説明いたします。このアンケートは、無作為抽出により選んだ近隣住民 1,000 人と、市民 3,000 人に対し郵送によるアンケートと合わせて、1/11～22 までの 12 日間、現地アンケートを実施しました。回答数は合計 1,205 件でした。

まず、アンケートの内容についてご説明いたします。【参考資料 2】のアンケート調査票の 2 ページ目、A3 の資料をご覧ください。

こちらは、公園のゾーニングパターン案を、例として 3 つ提示しています。

まず、A 案は公園の中心に大きな広場を設けたパターン、次に B 案は既存の樹林を生かし、小さな広場を点在させるパターン、C 案は A 案と B 案の中間型として、大きな広場のまわりに、様々なことに使えるスペースを整備するパターンです。様々なことに使えるとは、どういうことなのかを補足いたします。次のページの資料をご覧ください。ここに活用例を

挙げておりますが、アートイベント、展示を行ったり、ちょっとした演奏会を開いたり、屋外シアターや青空図書館に利用できたり、マルシェを開く販売スペースがあったりなど、その時々には様々なことができるスペースということです。

このA案、B案、C案の3つの案について、それぞれふさわしい使い方をイメージしていただき、次に、「自分にとって良い公園」、「まちにとって良い公園」はどの案に近いのかについて伺うアンケートになっています。

質問の詳細は、【参考資料2】の中に綴ってございます、【資料4】をご覧ください。質問は全部で21個あります。公園の利用について伺う質問なのですが、「運動やレクリエーションが出来そう」「子どもが使いやすい」「自然を身近に感じられそう」「少人数で落ち着いて過ごせそう」というような、それぞれの質問に対して、「大いに当てはまる」「どちらともいえない」「全く当てはまらない」までの5段階評価で回答をしていただくようになっております。

次に、【資料3-3】をご覧ください。分析結果についてご説明いたします。まず左側の中段に、①としてA案、B案、C案の単純集計結果として、それぞれの案ごとに、「使いやすい」と答えた人が多かった項目を、順にまとめています。資料にありますとおり、A案の大きな広場を配置するパターンでは、大人数の使用や災害時、運動やレクリエーションといった使われ方が上位に入っています。

同様にB案では、緑による癒し、自然が感じられる、草花を楽しめる、子育てにいい、が上位、最後にC案では、イベントがしやすい、複合施設と併用して使えそう、などが上位となりました。

次に、②で、配置ごとのそれぞれの使われ方を評価したその人が、アンケートの最後の項目である自分にとって望ましいと考える配置、街にとって望ましいと考える配置をどう見ているかを読み込んで、自分にとってよい公園配置と考えるに至ったプラスの影響となった使い方を、ポイントの高い順にまとめています。

これで見ると、上位に入った項目は、①B案で上位に入っていたものが多いことがわかりました。

次に紙面右側の③と④では、これをさらに年代別に細かく分析していきまして、自分にとって良い公園配置、では各世代ともプラス評価の高かった使われ方はB案で、ポイントの高かった項目が多いというふうに明確に結果が得られましたが、街にとってよい公園配置に関しては、ばらけた結果となりました。

樹木が多めのB案が支持されていることから、緑による癒しや落ち着きといった効果が大事に思われている、ということが読み取れる結果となりました。

アンケートの総括としては、右下のとおりでございます。自分にとって良いと思う公園の姿としては、誰でもふらっと立ち寄れて、緑に癒される空間があることや、多世代交流ができる、運動やレクリエーションができる広い空間と子どもも遊べる空間が共存していること、また、街にとって良い公園については、さらに、防犯やユニバーサルデザインにも配慮

されていること、とする傾向が読み取れる結果となりました。活動報告は以上でございます。

現在、ワークショップやアンケート調査の結果を基に、両公園の整備方針を作成しているところでございます。

横張委員長

はい、ありがとうございました。それでは、ご説明いただきました内容につきまして、皆様のご質問およびご意見をお願いしたいと思います。時間もありますので、活発な意見を頂戴できたらと思います。

では、皆さんがお考えをいただく間に私の方から質問させていただきたいと思います。特にこのアンケート調査の結果に関しまして、直接関わったわけではないので、結果につきまして非常に興味深く拝見していたのですが、現状に関しては、一言で言うと施設が老朽化し、アクセスが悪く、見通しも悪くて怖いから、利用しづらいという話が非常に多かったということですね。

公園緑地課長

はい。今、横張委員長がおっしゃられた、現時点での松戸中央公園、相模台公園について、市民の皆様など、ご利用の皆様からのご意見としては、やはりそのデメリットとか、その公園の良くないところについては横張委員長がおっしゃった、公園が使いづらい、古いといったご意見がございました。

また、合わせまして、実際に公園をご利用になっている方や、公園を動線として、駅、その近隣の公共施設などに通過するためにご利用になって、皆様からも、やはり同様に、今後、より良い公園にしてほしいというご意見をいただいたと考えております。以上です。

横張委員長

ありがとうございます。現状がこれだけネガティブな意見が多いということは、言い方を変えれば、ここは一生懸命に整備して、皆さんに使っていただけるようにしなきゃならないと理解することもできると思います。

ですから、現状に対する厳しい評価っていうのは、逆に言えば、いいところにして欲しいという皆さんの期待であると考えられるのではないかとということでございます。

アンケートの中で、「こういうことをしてほしい」はもちろん聞いていらっしゃるわけですが、逆にこういう点に関しては、避けてほしいとか、そういうところについては特に伺っていないですか。

公園緑地課長

アンケート調査は複数回実施しておりますがその中で、今、委員長がおっしゃられた、「こういうふうにしないでほしい」という設問は設けていませんでした。

またその中で、特に木を守ってほしいとか、特に相模台公園など、桜の木があって静かに花見ができる空間を大切にしたいとか、そういった今の公園に対しても、このままに残してほしいというご意見は多くあったように感じております。

横張委員長

ありがとうございます。今お話しがあったことについてですが、少々矛盾することになりかねないと思います。つまり、木が多ければ、当然見通しが悪いということにも繋がりがねないということです。見通しが悪い、だから怖いというご意見が一方にあり、しかし、他方ではなるべく木を切るなという意見があります。B案のように、大きな広場がある公園ではなくて、なるべく木を沢山植えた公園がいいという話しもある。今後、公園の中身を詰めていく際に、このような矛盾をどうするか考える必要があると思ひ伺った次第です。そういった矛盾が出てくるのが、今後1つの論点になると思われます。

轟委員

日本大学の轟です。どうもありがとうございました。活発に様々なワークショップやアンケート等をしていただいて、地元の方々とコミュニケーションをとっておられると理解しました。

横張委員長からもありましたけど、私もアンケートの結果などを見たところ、残念ながら、現状はやはり良いイメージはあまりありません。今も議論にありましたが、特に私の専門は交通分野ですので、将来的に駅や周辺からのアクセスをどう考えるのかということが1つのポイントになると考えています。

今回、地元の小学校や大学生と共にワークショップ等をされていますが、周辺の地域や施設と新拠点ゾーンの連携は重要になってくると思っております。そこで1点質問なのですが、この辺り、この開発地域の周辺のステークホルダー（利害関係者）の方々には、どんな意向があるのでしょうか。どういう使い方、あるいはどんな連携の仕方、要望があるのか、把握していたら教えてください。

それからこれは要望・意見です。自然との共生という視点の中で、「くつろげる」ことが非常にいいなと思っておりますが、もう1つそこに加えてほしいポイントがあります。カーボンニュートラルの観点です。市役所、あるいは商業施設等の文化施設をつくる際、ソーラーパネルや、風力を活用した装置など配置して、小学生がカーボンニュートラルやSDGsを感じながら過ごせるような空間ができればいいと思っております。そういった視点加えていただきたいと思ひます。よろしくお願いします。

公園緑地課長

轟委員から今いただきましたご質問。近隣の皆様からのご要望・ご意見、近隣施設等についてのご要望・ご意見は【資料2-3】をご覧ください。今回、ワークショップを計4回開催

しております。この中の第 1 回と第 2 回については相模台小学校の皆さん、第 3 回については近隣住民の皆様、最後に第 4 回については、近隣の松戸駅周辺の事業者の皆様、まちづくり団体の皆様、合計 8 人、地元の大学生 12 人と今ディスカッションをさせていただいております。その中で、これからどのような感じでその街の中央公園を近隣の皆様、事業者の皆様がご利用になっていくのかについて、活発な議論の中で、またそこで出た意見についてはその【資料 2-3】の方に簡単にまとめさせていただいておりますが、これから、この松戸中央公園がこの新拠点ゾーンの地域において非常に重要な役割を担っていく必要があるというふうに考えております。その中で、引き続き、近隣の事業者の皆さんと近隣の施設の皆様、ステークホルダーの皆様と公園の整備にあたって意見交換をしていく必要があるというふうに考えております。ふわりとしたご回答になってしまいますが、現時点においてはそのように考えております。以上です。

横張委員長

はい、ありがとうございます。では、他にいかがでしょうか。どなたでも結構でございますので。よろしいですか。はい。岩田委員。

岩田委員

岩田です。この図を見て、A 案、B 案、C 案を見て、車で来ちゃったらどうするのかなと思うのですが、その辺はどのように考えていますか。

公園緑地課長

今、車で利用というものについてご質問がございました。まず、現時点での松戸中央公園は、半径 500 メーター程度を誘致距離とした、近隣の皆様が主にご利用になる近隣公園という位置付けで、これまで公園を皆さんにご利用いただいておりますが、今後、松戸駅前にある松戸の顔となるような重要な公園っていう部分も踏まえて、様々な地域から、公園に訪れていただけるような公園になっていく必要があると思います。つきましては、現時点では松戸の駅前に多くの車両が駐車できるようなスペースはございませんが、車によるご利用といったものについても近隣のゾーンエリア内の駐車場の整備なども、これから検討することになっておりますので、合わせて考慮していく必要があると考えております。以上です。

松戸駅周辺整備振興課長

私の方からちょっと補足させていただきますと、都市再生部としては区画整理事業で、基盤整備を実施後、北側には商業、業務、文化施設、南側につきましては今、市議会の方と協議させていただいておりますが、市役所機能を整備する予定です。いずれにいたしましても、両施設の中に、駐車場を整備する予定でございますので、今後、利用形態については協議し

てまいります、駐車場はしっかりと整備させていただきたいと考えております。

横張委員長

はい、ありがとうございました。他はいかがでしょう。

秋田委員

はい、ありがとうございます。アンケートの結果では A 案、B 案、C 案のどれが良いですかということになっておりますが、大事なことは A、B、C のどの案かということよりも、どういう公園にしたいかということだと思います。例えば、災害時に安心して避難できるような場所であるべきだとか、今おっしゃっていたように松戸の顔になるような空間であるべきだとか。例えば運動、レクリエーションだったら別の場所でもできるから、必ずしもここでなくてもいいのではないかと。あるいは生態系に関しては、すぐ近くにふれあい松戸川などもございますから、そちらでいいのではないかと。ここで全てができるわけではないので、この後の話にも繋がると思うのですが、この場所が担わなくてはいけない役割は何か、ということから考えることが非常に重要だと思っています。

もちろん防犯的に安全な場所であるということは、もう間違いなく必要だと思うのですが、やはり、どうあるべきかを改めて考えて、先ほど申し上げましたように、周辺との役割分担も考えながら、どうしてもここで担わなくてはならない役割について議論を集約することは非常に重要だと思います。以上です。

横張委員長

なにか事務局のほうからご意見ありますか？

公園緑地課長

今の秋田委員の方から、いただきましたご意見というのは、まさにおっしゃるとおりだというふうに考えております。その中で、生態系ネットワークですとか、先ほどの轟委員からもございましたが、これからの時代の地球全体を捉えるようなエコシステム、SDGs ですとか、市民の皆様、ご利用の皆様の安全、または防犯等の安全ですとか、また、これからの防災における 安心なまちづくり、公園づくりについては特に重要だというふうに考えております。以上です。

横張委員長

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょう。

恩田委員

はい、恩田と申します。松戸中央公園並びに相模台公園っていうのは、市民としてはなか

なか利用がないかなと思います。現在、松戸まつりでは松戸中央公園を会場として色々イベント等、開催している中で、趣味でも訪れるというようなかたちがあるかなと思います。

今後、松戸中央公園等、文化施設等の施設を考えるという中で、主に松戸駅とのアクセスが問題。現在は、おおむねヨーカドーの中を利用して松戸中央公園の方に流れているのかなと思いますが、今後、市民が利用するにあたってアクセスを、どんな具合に考えているでしょうか。

松戸駅周辺整備振興課長

基盤整備にかかる部分なので、私の方から。今おっしゃられたとおり、松戸駅東口からのアクセスについては、新拠点ゾーンを整備する上で大変重要だと我々も認識しております。ただ、アクセスルートが限られておりますので、現在、隣接する事業者と24時間通行可能なバリアフリー動線の確保のための協議は行っております。

また、令和6年度につきましては、それ以外にそれを補完するようなルートについても何か検討できないかというところで、今後研究したいと思います。

先ほどちょっと公園緑地課長からご説明がありました相模台公園については、現在台地部からのアクセスできない状態ですけれども、南側に施設を作った場合であっても、隣接する相模台公園に行けるように、今計画しているのは、松戸中央公園から通称S字道路の上に人道橋をかけて、下まで行かなくても上からアクセスできるようにとか。また、なるべく坂を上らなくてもいいようにS字道路の交差点部分から、相模台公園にアクセスできるようなエレベーター等の設置の方も検討しているところでございます。いずれにしても、公園をどんな方でも安心安全に利用できるように、アクセス動線については確保していきたいと考えております。以上です。

横張委員長

はい、ありがとうございました。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ただいま様々なご意見を頂戴いたしました。1つは、アクセスの問題です。車でアクセスした場合、あるいは松戸駅から徒歩でアクセスすることを今後考えていく必要があるだろうというご指摘がありました。

それから、その公園のあり方として、「A、B、C案、どれがいいですか」もいいけれども、そもそもどういう機能を満たす公園にするのかを、周辺の他の公園緑地との関係性の中で考えるべきであるとか、あるいはその中にあるのはSDGsやカーボンニュートラルという観点からも公園の在り方をもっと考えてもよいのではないかとといったようなご指摘がありました。

また、近隣住民が、近隣の施設との関係性の中で、そのご意見をどのように反映させていくのか、こういうご指摘もあったかと思います。最後に私の方から、樹木の扱い、この辺は矛盾が発生してしまうような危険性もあるので、今後のあり方を考えてく上では慎重に扱

っていく必要があるのではないかと、そのような指摘もさせていただいた次第でございます。

それでは、ほぼ1時間経ちますので、ここでちょっとリフレッシュの時間として、5分間ほど、お時間を頂戴したいと思います。私の時計で今 57 分ぐらいですので、11 時ちょっと過ぎ、4 分ぐらいまでリフレッシュタイムということで休憩にさせていただきたいと思います。

休憩

横張委員長

お時間になりましたので、再開いたしたいと思います。今回は（2）です。水・みどり・歴史部会における審議内容の報告ということでまた事務局より説明をお願いします。

公園緑地課長

公園緑地課長でございます。引き続きご説明させていただきます。

水・みどり・歴史部会における審議内容につきまして、事務局からご報告をさせていただきます。【資料4-1】松戸駅周辺まちづくり委員会 水・みどり・歴史部会会議内容をご覧ください。こちらの資料に部会で出された主な意見を事務局でまとめさせていただいております。

まず、第1回目、令和4年7月28日開催。こちらにつきまして、前回、令和4年7月28日の委員会以降、合計3回、水・みどり・歴史部会を開催しておりますが、まず第1回につきましては、アンケート調査1の実施状況の報告、ワークショップ1、2についてご審議いただきました。

主な意見をご紹介しますと、アンケート調査につきましては、この結果だけで公園に何を作るのかを考えるのではなく、結果を基に将来の公園に何が必要かを考える必要があるとのご意見がございました。

また、ワークショップの実施について、ワークショップ1、2につきましては、相模台小学校の4年生以上とその保護者を対象に参加者を募らせていただきましたが、その時点では、お申し込みいただいた人数が非常に少なく、開催の見込みが立たない状況でございました。

そのことを部会の皆様にご報告いたしましたところ、近隣の小学校にもお声をかけてはいかがでしょうか。というご意見をいただいたとき、そのアドバイスに基づきまして、総合の学習にて相模台小学校の皆様とも連携して無事ワークショップを行うことができました。

さらに、その他のご意見といたしまして、駅周辺に回遊型の散策コースができるとよい、シンクロジなどハード整備と合わせ、松戸の野菜などを利用した観光的なものも含むソフ

ト事業を並行すべきといったご意見をいただいております。

続きまして、3回で開催いたしましたうちの第2回は令和4年10月28日に開催しております。部会では、アンケート1、ワークショップ1、2の実施報告、ワークショップ第3回、第4回及びアンケート調査第2回に予定する内容についてご審議をいただいております。結果のご報告に対して、まずアンケート1については、新拠点ゾーンにおいて新しいことを考えていく過程で、アンケート調査は市民意見を聴取する大切なプロセスであり、また、それにプラスして、その後にクリエイティブな作業をすることも大切、また、クリエイティブな作業の中で浮かび上がってこないニーズを考えることが必要などといったご意見をいただいております。

また、ワークショップ1、2の結果報告に対して、小学校のお子様やその保護者が主体的に関わった良い取り組みであり、この取り組みを通じて、まちへの愛着が生まれるだろうなどのご意見をいただいております。

さらに、その他のご意見として、今後開催されるワークショップ第3回、第4回では、市内に4つの大学があるので、学生に参加してもらうなど対象を広げた方が良いといったことや、今後ハード面の整理にあたり誰が運営していくかも考え、それらの人の意見を織り込んでいくことも必要といったご意見がございました。

また、さらにサテライトオフィスに対する需要が高まっており、松戸中央園等が、受け皿となりうることや、世田谷のプレーパークのようなことがここでできれば面白い、などといった様々なご提案、ご意見をいただいております。

最後に、水・みどり・歴史部会第3回は令和5年7月21日に開催されております。内容といたしましては、ワークショップ第3回、第4回の実施報告及びアンケート調査2回目の結果報告と、松戸中央公園、相模台公園のリニューアルの整備方針の案についてご審議いただきました。

ワークショップ第3回、第4回について、既存の緑のいかし方が重要であること、駅に近いということの利点をいかし、近隣の住民以外の方も楽しめる場所になると良いといったご意見がございました。また、アンケート調査2回目の結果についての報告に対し、世代ごとに様々な意見があり、計画を考える上で選択肢が多く、どう落とし込むのかといったことや、公園に求められる機能でまちにとっても良いこととして無目的滞在出来る、といったご意見などが挙げられましたが、駅周辺にはなんとなく散歩ができる場所、座って休憩できるような場所がないといったご意見も出されております。

次に、ご提案させていただきましたリニューアルプランに対してです。松戸中央公園・相模台公園リニューアルの整備方針案につきましては、現在その構成についても検討中であり、資料として案を本日添付しておりませんが、整備方針の最初の部分に、大前提となる安全安心や子育て、ダイバーシティ、ユニバーサルデザイン、生物多様性などを入れた方が良い、デザインで犯罪を抑止できる手法を取り入れるとよい。防犯については、死角を作らないよう見通し確保のため植栽管理が必要である、緑は活用できる形で残すことが、未来の

子供たちのためになる、何をするのかどのように使うのかを徹底的に利用者視点から考えること、イベントなど公園をより活用していくために電気水道などインフラの整備もするとよいといったご意見が出されております。

水・みどり・歴史部会でのご意見を踏まえ、今後のスケジュール、進め方について、新拠点南側の相模台公園と隣接する土地利用が決まらなないと、今検討しているリニューアルプランが様変わりする可能性がある、それらが決まってから、さらに公園再整備を検討する時間を設けるべき、また、基本設計を作るまでにさらに数回部会を開催してご意見を伺うプロセスを踏むなど、全体の進め方を再検討してほしいといったご意見を部会からいただいております。審議内容についての報告は以上でございます。

また、本日、委員の皆様におかれましては、この委員会の最後にご説明した今後の進め方につきましては、ぜひご意見をいただきたいというふうには考えております。以上でございます。

横張委員長

ただ今の説明につきまして、このあと皆様よりご質問、ご意見をお受けしたいと思います。特に最後にご報告いただいた点に関してですが、用地取得を含め、今後の新拠点ゾーンの施設の在り方がなかなか確定されない状況の中にあることが論点となりました。元々、MATSUDOING2050等の市民の参加をいただきながらこの新拠点ゾーンの整備を進めてきた過程にあっては、公園は公園、施設は施設というように切り離してそれぞれ進めるのではなく、敷地境界は別として、機能的に、あるいは空間のデザイン的には、一体となって考えていくというのが基本姿勢でありました。しかしながら、その一体となってというところにおいて、他方の施設整備が、ストップしてしまった状況だと、公園の部分だけを先行的に進めるというわけにはいかないでしょうということの中で、もう少し他の施設の方針が固まってくるのと並行する形で進められたらと、部会では考えたということでございます。

では、この部会の検討内容等につきまして、ご質問、ご意見、ご指摘をいただければと思いますがいかがでしょうか。

入江委員

松戸商工会議所の入江でございます。

実は今日、和歌山県からいらっしゃった仕事上の知り合いの方にお会いしたとき、ちょっとびっくりしたことがあったそうです。というのが、松戸駅の東口を出て、相模台の台地へ上がる方法が、ヨーカドーのエスカレーターしかないことがとても不思議だとおっしゃっていました。我々としては長年ヨーカドーのエスカレーターを利用しておりましたので、全然不思議ではないのですが、他の土地の人から見たら非常に不思議だと。

このようなことを鑑みますと、東西の回遊性が非常に悪いという中で、公園、それから施設、市の施設だけではなくて、例えば坂川であるとか、江戸川であるとか、文化施設と関連

づけて公園をその中の一環として考える必要があるのではないかなと考えております。

商工会議所の方では回遊性を確保することが、要するに地域経済の振興になると考えておりますので、是非、インフラの整備も合わせて公園の整備を行っていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

横張委員長

はい、どうもありがとうございました。部会を担当している人間といたしましても、もちろん部会の中でもそうしたご意見は常に出ているのですが、我々としても検討していきたいと思いますが、何か事務局のほうからもございますか。

松戸駅周辺整備振興課長

入江委員がおっしゃるとおりでございます。本日の次第の「その他」松戸駅周辺まちづくりビジョンの策定の中で、詳細についてはご説明させていただきますが、新拠点ゾーンも1つのエリアとして、春雨橋親水エリア、戸定エリア、公共空間としては西口公園など回遊性をもたせ、人々が楽しく歩き回れるような楽しいまちづくりをしていきたいと考えております。なかなか再開発事業などハード事業が進まないものですから、なんとかソフト事業で松戸駅周辺を盛り上げていきたいなと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

横井委員

日本大学の横井でございます。私は公園や緑そのものについては専門外なのですが、先ほど委員長からもご意見がありましたように、公園の利用について、市民の方から「これはしないでほしい」という意見はあったのかどうか気になりました。場合によっては「これはやらない」という選択肢もあるのではないのでしょうか。

公園をどのように利用するか、よく考える必要があると思います。例えば、イベントをするときに、物資の搬入車両をどこまで入れるのか、または、車は駐車場に停めて物資を搬入するのか、駐車場が遠くて物資の搬入に労力がかかるのか、また、イベント開催中に音はどのくらいまで許容できるのか。また、周囲の施設と合わせてどのような利用が想定されるのか等を考える必要があると思います。

都心の商業施設でも、同じような問題が起こっておりますし、「できるのか、できないのか、許す、許さないのか」について、難しい問題ですけれども考える必要があると思います。

また、公園が、まちに住んでいる人の為の場所であることはもちろん大事ですが、新拠点ゾーンに遊びに来られる方々が、その周囲を回遊し、その「拠点」になるということも大事なのではないのかと考えております。今回のアンケート調査では、新拠点ゾーンを含めた松戸駅周辺の回遊性について視野に入れるという話は恐らくなかったと思いますので、これについては、拾い上げていく必要があるのではないかと思います。また、回遊性を高めることが、商業の発展にもつながると思います。

少し商業のことも絡めてお話しします。所属大学で受け持っている学生と一緒に、公園の有効活用について、調査研究した例です。公園の活用を考えると、大抵住んでいる人の視点に偏りがちになってしまうのですが、学生は、犬猫などのペットと共生という視点を提示してきました。そしてペットを飼っている人たちは、どこの公園に行くのかを調査したのですが、ペットを思い切り遊ばせることができる場所というのは実は都心には少なく、ペットを遊ばせることができる場所を探し、休みの日にその場所まで出かけるようでした。このような方々に来ていただき、公園で憩うだけでなく、公園の周辺で食事をしたりするなど、回遊することができれば、新拠点ゾーンは、長い時間滞在できる場に十分になり得ると思います。

公園と複合施設エリアをくつつただけではなく、その周辺のまちや商業施設までを含めたうえで、この公園をどう生かせるのかを考えていただければと思います。

木を残すことも非常に大切なことなので、ご専門の方々に十分検討していただきたいですし、公園の活用の仕方としては、やはり商業の視点も重要だと思いますので、ぜひその辺りも含めて、公園のあり方、活かし方、どこまでを使えるようにしていくのかを検討していただけたらと思います。

横張委員長

はい、ありがとうございます。最後にご指摘の点、まったくそのとおりだと思います。大手町の川端緑道という大手町の一番北側に、公園がございまして、そこで、実験的にドックランをつくり、当然、千代田区の住民しか使わないだろうと思っていましたら、随分遠くの方からも利用者が訪れており、その結果、ドックランだけでなく、その周辺の飲食店も利用していただいたという相乗効果が生まれたことが実際にありました。実はそのような需要がとても大きいということを知った次第です。ぜひ、この機会にいろんな視点からご意見等頂戴できればと思います。

太下副委員長

同志社大学の太下です。

2点意見を申し上げたいのですが、1点目は議論しているこの審議内容の報告事項についてです。この部会の審議内容は部会の活動報告とも密接に関わって、ちょっと先ほどの議題とも重なると思うのですが、改めて振り返ってみたいのです。こういうパブリックなまちづくりを考える上で、こういうアンケートとかワークショップとかやっていかれるのは、当然必要なプロセスだなと思います。ただ、その結果をどういうふうに解釈していくかは、慎重な取り扱いが必要かなと思います。というのは色んな項目でアンケートをしたり意見が上がってきたりしていますけど、必ずしも均質な意見ではない、重みの上で必ずしもイコールではないだろうと思います。というのは、先ほど横井委員がおっしゃった、絶対こうやってほしくないことってということとちょっと絡むのですが、ここであがっているいろ

いろいろな項目のうち、あったらいいねっていう理想系の話と、絶対これは外せないだろうという項目っていうのはやっぱりあると思います。

具体的に言うと、例えば【資料 3-3】で上がっている中で言うと、見通し・防犯という項目。これも、選択肢としては防犯だと思うのですが、見通しというのはそのための手段です。やっぱり犯罪が起こっていけないというのは絶対必須だと思います。逆にそういう項目があがるということは、現状の見通しの悪さとかも含めてちょっと怖いという意見があったわけで、その不安があるからそういう意見があがるのだと思います。

なので、この【資料 3-1】にもありますけど、子供が安心して遊べるなんていう点は結構高いポイントがあがっている。この子供が安心して遊べるっていうのも、もちろんその遊具とかで怪我してはいけないっていう要素もあるかもしれませんが、おそらくそれ以上にここで子供たちが遊んでいて、なにか事件に巻き込まれるのを懸念しての意見ではないかなと思います。

さらに言えば、松戸中央公園のトイレなどの施設が古いというのも、単純にこの設備が古いから変えてほしいという意見だけではなくて、古い施設をそのまま放置しておくことで、いわゆる社会学でいう割れ窓理論っていうのですか、団地の割れ窓を放置しておく、より治安が悪くなっていくって悪循環に入っていく、それに近いご意見で、トイレが汚いとより治安が悪くなるということを懸念しての意見ではないかというふうに思います。

なので、このアンケートはアンケート、ワークショップはワークショップでやることに意味はありますけども、それを解釈する上では、違うステージがあったほうがいいかなと思います。これが 1 点目。

もう 1 点目が、こういうワークショップとかアンケートは必須のプロセスとは思いますが、こういう時代の変わり目で、コロナがあったりなんかの時代の変わり目は、皆さんすごく意識される部分もあると思うのですが、こう時代が変わっていく中で、新しいまちづくり、公園づくりっていうのを考えること。そのゴールというか正解というものはたぶんないのだと思います。少なくとも過去に正解はないと思います、今までには存在しない、もっともっと新しいものを考えなきゃいけない、そういう時にこういう、アンケートとかをやっても、多分答えはなかなか出てこないと思います。元々あったものの答えの複合的な組み合わせでしかアンケートから導き出されないと考えると、必須のプロセスではありますが、これとはまた別に、もうちょっとクリエイティブなプロセスがどこかにないと、これからの新しいまちづくりっていうのはきっとできないと思います。

なので、先ほど事務局からも話ありましたが、このまちが全体としてどうなるのか、特にこの南側に市役所が、来るのか来ないのかっていうのは、多分そういったことを考えるうえでもすごく大きな要素です。当然私は市役所が来て、市役所というのは市民が 1 番集まる場所の 1 つでもありますので、これが来たことによって、さらにこの公園にも多世代がくる可能性があるということを前提にこの公園のまちづくりを考えるってことは当然必須のプロセスになってくるので、市役所が来るか来ないかっていうのが決まらない段階では、

当然ほかの要素のまちづくりも考えられないだろうなと思いますので、この答申のスケジュールについても、今事務局がご説明のとおり、仕方ないことだなというふうに思っているところです。

横張委員長

はい、ありがとうございます。私も今のご意見に大変賛成するところでございます。笑い話なのですが、先だってまちづくりの中で、ある担当者が「イノベーションを喚起する街にしたいです。イノベーションの事例を教えてください」と言っておりましたが、前例がないから、イノベーションになる訳です。そういった笑い話がある程ですから、やはり我々は姿勢を変える必要がありますね。そういう潮目だからこそ、前例主義であるとか、過去に答えを求めていくのではなく、新しく考える必要があると思う次第です。

また、今後は市役所のあり方が大きく変わってくると思います。今までは、公共のサービスを受けるために市民が市役所に「集う」場所になっていましたが、今では市役所に行かなくとも、用が足る時代です。そうすると、そもそもこの「集う」とはどういうことなのかを今一度考えながら、新しい施設の在り方について考える必要があると思います。また、公園と施設を密接に連携させるという認識を持つ必要があると思います。

秋田委員

はい、ありがとうございます。私も、今、横張委員長のおっしゃったとおりのことを考えていました。この【資料 4-1】の4枚目の最後、これからどうするのかというところなのですが、最近、公共施設のリニューアル期にあたっていて、色々な自治体に伺うと新しい市庁舎ができてることが多いです。つい先週もできたばかりの市庁舎に行ったのですが、これらはいずれも印象が似ています。木材が使われていて、パブリックスペースがあって、ちょっといい匂いがして。施設の設計がパターン化しているような気がします。横張委員長のおっしゃっていたイノベーションのように、施設と公園を合わせて考えられることができるポテンシャルがある場所なので、もっと独自性を考えた方が良いと思います。他のリニューアルされた公共施設を見に行けばわかると思いますが、なんとなく似たようなものばかりになってきて、その街らしさってどこにあるのだろうっていう気がします。松戸では公園と合わせて検討することで、イノベーティブな空間ができるといいなと思います。

横張委員長

はい、ありがとうございます。ステレオタイプ化しているという話は、私も非常に痛感しています。お役所だけでなく、オフィスもそうですね。今は、どこもコワーキングスペース的な空間があり、そこにみどりが沢山置いてあり、お茶でも飲みながら、皆さんパソコン広げていいですよというつくり。じゃあ本当にそのようなところで、皆さんがクリエイテ

イブな仕事をしているか、といったら私にはどうもそういうふうに見受けられない。その形が、もう1つのパターンになっていて、そういうことさえすれば「イノベティブでしょ」という感じになる。フリをしているだけというケースがまあまあ見られると思います。その辺も含めて、我々は、どのようなスペースを作ろうとするのか、今後考えていく必要があると思います。

我々、部会も兼ねた人間でございまして、ぜひ、部会の方には参加されてらっしゃらないという方々からも、もっとそういうことを検討してほしいといったようなご希望ございましたら、ぜひ お願いできればというふうに思いますが、いかがでしょうか。

(意見なし)

はい、では特にございませんでした。今ちょっと確認させていただきましたけれども、また先ほど太下副委員長の方からもご指摘ございましたが、南側に何の施設がつくられるのか、また、どのように整備されるのか、その辺の一定程度の青写真がないとなかなか公園部分について具体の検討が進められないよねと。ですから、答申しようと言われても、そもそもの答申する内容が決めることができない。これまで部会で審議を進めてきたのですが、このまま進めてよいのか、他の施設が決まってくるそのタイミングを合わせながら継続審議を行ない答申という形にまとめていくということについてお図りをしたいと思います。

一方で、今後、青写真が決まっていく中で、さらに詰めていくわけですが、その際には、今、先生方からいただいた様々なご意見、例えば東西の回遊性とか、松戸駅周辺の他の施設との連携を重視していくこと。また、「こういうこともやります、できます」ばかりじゃなく、こういうことはやっちゃいけないとか、こういうところにはもっと配慮するといった視点からの検討もする必要があるということ。それから、この地域にお住まいの方ももちろん大事ですが、同時にその来訪者にとって魅力的な空間となるように、そして、ここにやってこられた方が同時に他の施設を利用していただくといったような、そういう視点を持ち込む必要があるのではないかと。やはりその時代の変わり目であるという中で、過去に答えを求めるのではなく、これからどのような場所があるべきなのかというところを未来から見ていくという視点がぜひ必要ではないか。

そして、最後にはその固定化してしまったステレオタイプ化した発想ではなく、もっとその柔軟に発想していく視点が必要なんじゃないか。こういうご指摘を踏まえつつ、一方で、その南側のその施設がどういうものになっていくのかということが明らかになってくるタイミングと合わせ、今後審議を重ねながら最終的な答申に持っていくと、そういう形で会は進めさせていただきたいということになろうかと思いますけれども、そういった形で進めさせていただくということでよろしいでしょうか。

(意見なし)

はい、ありがとうございます。では、そういった形でご報告させていただきたいと思います。

林委員

皆さん、改めましてこんにちは。松戸駅周辺活性化推進協議会の会長をしております、林でございます。

現在、松戸駅周辺まちづくり委員会においては、新拠点ゾーンパブリックスペースから考える松戸中央公園及び相模台公園のリニューアルについて審議しているところです。

これまでの経過を振りかえってみますと、ご承知のように、2015年に松戸駅周辺まちづくり基本構想を策定し、この計画には、松戸駅から江戸川を利用した水陸両用バスの整備や、松戸駅から東西にのびる道路をシンボル軸として形成することが記載されています。そして、この計画策定から9年が経過しております。

その後、2018年に新拠点ゾーン整備基本構想を策定し、この構想の中で、公共施設の再編や多様な市民が交流すること、多彩な都市活動や文化活動をつくり出し、発信する拠点づくりをすることが記載されています。そして、この構想の策定から6年が経過しているわけでございます。

また、作曲家・船村徹の作品で矢切の渡しが大ヒットした、矢切でございますが、矢切につきましては、新拠点ゾーンと同様に、そのままの状態でございます。

また、新拠点ゾーンから松戸駅、江戸川までをつなぐ動線をシンボル軸と位置付けていますが、これに関しまして、新拠点ゾーンを含む松戸駅周辺で改善すべき様々な課題がございます。

その改善すべき課題のひとつが、ふれあい松戸川です。ふれあい松戸川は、整備してから25年が経ちます。しかし、ふれあい松戸川と銘打っているにも関わらず、残念ながら、管理作業が行きとどいていないため、マムシやハクビシンが出るような状態になっております。このようなことを改善してもらうために、私は、国や県などの関係部署へ16年間働きかけを行ってきました。予算の都合はあるかと思いますが、出来るところから速やかに整備を行い、官民連携で松戸駅周辺の賑わいを創出していただきたいと思います。と思っています。

また、施設のリニューアルも大切なことだと感じています。森のホール21は、開館から30年以上が経過しております。当時、森のホール21は、千葉県のナンバーワン、オンリーワンでございましたが、今では設備もだいぶ古くなりました。このようなことを考えますと、森のホール21や先ほどお話ししました、ふれあい松戸川、それからマンションなどの老朽化した建築物等もリニューアルしていく必要があると思います。

松戸駅周辺まちづくり基本構想等の計画に沿って、今後とも整備を進めてくださいますよう、ぜひお願いいたします。

結びになりますけれども、この松戸駅周辺のまちづくりの理念でもございますが、主要な

分野で成長戦略を目指し、地域のあるべき構想と同時に、グローバル化が加速する中では、多様性、ダイバーシティを活力とする協働が必要だと思います。自ら新しいアイデアや発想の力、そして、未来の種と申しましょうか、様々な基礎力を鍛え、その時その時代の理想と希望持って、速やかに新しいものにチャレンジしていただきたいと思います。

横張委員長

はい、ありがとうございました。エールをいただきましたというふうに認識させていただきたいと思います。

最後に（３）を議題とします。では、この点につきまして事務局から説明をお願いいたします。

松戸駅周辺整備振興課長

はい。では、議題（３）全体スケジュールについてご説明させていただきます。【資料５】をお手元にご用意ください。左から右に時系列にスケジュールを記載しております。青色の部分が委員会の開催、緑色の部分が水・みどり・歴史部会の開催、ピンク色の部分がアンケート調査のワークショップの実施を示しております。本日は中央部分の青い部分となっております。３月２９日、松戸駅周辺まちづくり委員会を開催しているところでございます。

これまでの取り組みにつきましては、先ほど公園緑地課長の方からご説明いたしましたとおりでございますが、令和６年度以降につきましては、まず、本委員会の委員の任期が令和６年７月２４日までとなっておりますことから、７月に委員の改選を予定しております。この後のスケジュールについてですが、先ほどの議題でご意見いただいたとおり、新拠点ゾーン南側国有地の土地利用の方針が決定された後、委員長にご報告、ご相談の上、諮問事項である「新拠点ゾーンパブリックスペースから考える松戸中央公園及び相模台公園のリニューアル」についてご審議いただくため、委員会または部会を開催させていただきたいと考えています。

次に、答申をいただいたその後の進め方についてですが、公園以外の施設計画、例えば北側の試みの場、商業・業務・文化施設ですが、その施設計画や南側の支える場の施設計画と調整、整合を図りつつ、公園の再整備の計画を段階的に進めさせていただきたいと考えております。なお、資料の右側のほうに赤色の両矢印を記載しておりますが、答申をいただいた後も、委員会へ進捗報告や意見を聴取させていただきたいと考えておりますので、引き続きお力添えをくださいますようお願いいたします。以上が全体スケジュールのご説明です。

横張委員長

はい。ありがとうございました。では、先ほどから繰り返し申し上げているとおりでございますけれども、また今の説明にもございましたが、南側の用地の土地利用のあり方という

のが決まらないことにはなかなか具体の動きができない状態であることから、南側の用地の土地利用が決まった時点から起算し、この委員会又は、部会のどちらを開催するのか、また開催する時期等につきましては、太下副委員長や事務局と相談しながら判断をさせていただきたいと思いますが、そういった進め方でよろしいでしょうか。

(意義なしの声)

はい、ありがとうございます。また、水・みどり・歴史部会に関しましては、具体的話などを部会の中でせざるを得ない部分もございますし、その具体的話の中では、特定の方の利害等にある程度抵触してしまうといったようなことも、議論の過程としては、やはり必要になってくるところもございますので、そういったことを踏まえて、これまでもそうでしたが非公開という形で議論させていただきたいと考えていますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

はい、ありがとうございます。では、部会を開催する際には非公開とさせていただくことをご了解いただきました。(3)につきましては以上とさせていただきます。

では、最後になりますが、私ごとで恐縮ですが、実は数日で定年を迎えます。幸いと言いましょうか、幸か不幸か若干の延長を認めていただき、大きく表向きは変わらないですが、いったん数日で定年という区切りを迎えます。そうした中で、やはり自分で思いますのが、「昔は良かった」ということを言い出したら、もうそれは隠居する時だと私は思っております。この節目を迎える中で、常に自分自身が、先頭きって、新しいことにチャレンジし、「昔は良かった」とは言わないようにしようと思っています。

先ほど太下副委員長から、時代の変わり目なのだというお話がございましたけれども、まさに時代の変わり目っていうのは、「昔が良かった」という中で考えちゃいけない時代だということなのだろうなと思います。ですので、過去に事例を求めることは、ある意味安心することになるのですが、そこで安心しないことが大切なのだと思います。逆に言えばリスクを背負うけども、あえてそのリスクにチャレンジすることを、ベースに持っておかないと、気が付いたら時代に合わないものが出来上がってしまったということになるのではないかと思います。松戸市も、前例や過去にこだわるのではなく、「これからはこうなる、あるいは、こうなるべきだ」ということを、見据えながら、検討を進めたいと思っています。

長くなりましたが、私からは以上にさせていただきたいと思っています。最後に事務局より松戸駅周辺まちづくりビジョンの策定についてお願いしたいと思います。

その他

勝間専門監

その他「松戸駅周辺まちづくりビジョンの策定について」報告いたします。はじめに、【報告資料 1】をお願いします。

松戸市では、公民が連携してまちづくりを進めていくため、次年度より 2 年間の予定で「松戸駅周辺まちづくりビジョン」の策定に取り掛かってまいります。この資料は、この「松戸駅周辺まちづくりビジョン」策定を行うに至った経緯として、昨年度実施した、市民や事業者に向けた公募型の「サウンディング型市場調査」と、これを受け今年度実施した「まちの現状分析」などの経過と、現在の「松戸駅周辺まちづくりビジョン」のイメージについて、お示ししたものですので、順にご説明いたします。1 ページ上段をご覧ください。

まず左側の「サウンディング型市場調査の結果」の 1 番上、「松戸駅周辺の事業ポテンシャル」ですが、ここは、住宅需要のポテンシャルが高く、商業や業務は、駅周辺に集積した人口に対する事業ポテンシャルを有するなど意見があり、まとめると「住宅需要が高いなど、松戸駅周辺の強みは人口の集積」としました。

関連して、右側の「まちの現状分析」の一番上、「まちとくらし」についてですが、労働力や買物が地域外へ流出していることや、ここ 17 年間で市内の商業事業所、事務事業所が減少の一途であることなど、まとめると「職、買が他のまちに流出」、「商業・業務面においても活気が薄れつつある」とし、先ほどのサウンディング調査の意見もあわせて、「松戸駅周辺はベッドタウンとしての評価・現状に留まる」ものと受け止めています。

次に、左側 2 段目の「ソフト事業企画の上での課題・要望」についてですが、ここでは、イベント企画・運営を行う市の経済的な支援がなければ難しいとの意見や、公園・広場などイベントの場が使いやすい空間として整備されていないと運営が難しくなるという意見、また、こうした公共施設整備はイベントなど実際の使い方を想定して整備すべきとの意見を得ており、「イベント・活動を行う基盤が脆弱」とまとめております。

関連して、右側 2 段目の「まちと市民、市民間、世代間の交流」では、核家族化や単身世帯が増加し世帯構成員が減少していること、既存の地域コミュニティである町会・自治会加入率が減少していること、また、市民活動に参加する人の割合が停滞していることなどから、「コミュニティ・活動・交流が衰退」しているものと捉えており、これらをあわせて「活動・交流によるにぎわいを生み出すには、市・市民・民間が協働した場の整備が必要」となると考えております。

次は、右側 3 段目の「経済活動の変革」です。ここでは、少子高齢化や EC（イーコマー

ス) いわゆるネットショッピングの進展によって、実店舗での買物の回数が減り、まちから個店を中心に店舗が減少していることや、こうしたことからまちの個性が薄れつつあり、にぎわいも低下していると分析し、「個性ある実店舗が減少しまちの個性も希薄化」とまとめ、今後は、まちの個性や特色を高めるため、「特色あるコンテンツの育成が必要」とまとめている。

次に、左側 3 段目の「ハード事業企画の上での課題・要望」ですが、まず、交通需要や利便性の観点から、道路等の公共交通基盤の改善が必要との意見があり、「公共交通基盤が脆弱」としています。

また、こうした道路等整備を含めた再開発等大規模な開発を想定すると街区が小さいこと、細分化された敷地の中で地権者が個々に個別利用をしている現状や、こうしたことから開発をすすめるには、事業の動機付けとしてマスタープランやまちづくりビジョン等方針の策定が必要など意見をいただき、「公の動機付けがないと大規模な開発は難しい」とまとめ、こうしたことから「ハード整備の方向性を示すことが必要」と考えました。

これを総括したものが中央のオレンジの欄ですが、こうしたことから、松戸駅周辺がこれからは持続的に発展していくためには、「よくあるベッドタウンからの脱却を図るためまちづくりビジョンによる、市の方針表明が必要」との認識に至っております。

資料の下段は、こうした認識から想定する「松戸駅周辺まちづくりビジョン」の概要と、まちの将来像です。

まず左の概要ですが、目的は、官民連携の取り組みによるまちづくりを推進・誘導し、賑わいを再生することです。

内容は、松戸駅周辺まちづくり基本構想・緊急整備地域の地域整備方針の下位計画として、松戸駅周辺整備振興推進事業における様々なハード・ソフト施策の中で、市として優先的に推進すべきと考える官民連携の取組と、市の支援体制などを示し、事業推進の呼び水としたいと考えております。

右側は、現状と将来のまちをイメージ図にしております。現状は、極端に言えば「寝に帰るだけのベッドタウン」ですが、まちの将来像は、緑色の破線が示す、都市基盤が充実するとともに、白い丸で示されるようコンテンツが溢れ、緑色の丸で示す人々の交流やにぎわいが向上することによって、「よくあるベッドタウンから脱却し、選ばれるベッドタウン」としていきたいと考えています。次に 2 ページをお願いいたします。

こちらは「松戸駅周辺まちづくりビジョン」で、優先的に進めていくべきと示す事業の案で、ハード事業の想定を左側、ソフト事業の想定を右側に仮置きしています。

こうした優先事業の取捨選択や、事業への市の援助体制、また公民が連携する推進体制などは、今後検討し精度を高めてまいりたいと考えています。

なお、この「松戸駅周辺まちづくりビジョン」につきましては、令和6年度に、地元や庁内の関連部署と連携しながらビジョン(案)を作成し、令和7年度には、本委員会に諮問し、ご審議いただく予定でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次に【報告資料2】「パイロット事業について」をご覧ください。

松戸駅周辺では、先ほどの「松戸駅周辺まちづくりビジョン」の策定を通じて、公民が連携したハード・ソフト両面のまちづくりを進めていきたいと考えています。

こうした中、ソフト事業につきましては、公有地を活用し意欲的なプレイヤーと連携していくなど、比較的短期間のうちに取り組みを進めていけるものと考えています。

しかし、ハード事業につきましては、既成市街地を再構築する事業であるため、市街地再開発事業等、地権者の土地利用の変更や、再投資を伴う事業となり、地元のご理解をいただくためには、ハード事業自体が成立することはもちろんですが、事業後も継続的にまちが発展する将来像をお示ししていくことなど、時間をかけてでも、まちに再投資を行いやすい環境を作ることが必要と考えております。

こうしたことから、まずはパイロット事業として、ソフト事業を先に展開し、まちの魅力や価値の向上を図ることで、まちのにぎわい再生とともに、ハード事業をも誘引していきたいと考えております。

資料左側はこうしたパイロット事業のメニューとなります。

まず、「コンテンツ集積エリア」として、戸定邸エリアと春雨橋親水エリアを記載していますが、まず次年度から春雨橋親水エリアにて、コンテンツの生成の実証実験を始めていきたいと考えています。

次に「エリア連携事業」として、シェアサイクル・シェア電動キックボードや、アートを活用したまちづくり推進事業を記載していますが、次年度早々のシェアサイクル導入が見込まれるほか、アートを活用したまちづくりも、次年度より推進計画の検討を始める予定となっています。

右側はイメージする事例です。左上の2枚の写真は、八柱にある「ワンテーブル」というシェアキッチンで、飲食店の起業を目指す人が日替りで出店し、独立開業を目指しているものです。

右側の写真は、西千葉にある「ハローガーデン」という民間会社が運営する広場で、地域住民が主体的に様々な活動を生み出し、展開しているものです。

こうした事例などを参考に、コンテンツの集積を図っていきたいと考えています。

下の「アートを活用したまちづくり推進事業イメージ」は、青森県十和田市にて、美術館周辺のまち中にアート作品を展示している「まちなか常設展示」という取組で、美術館の来館者がまちを巡るなど、回遊性を高めているもので、人流促進の参考としてまいりたいと考えております。報告は以上です。

横張委員長

はい、ありがとうございました。説明がありましたまちづくりビジョンの策定については今日、皆さんから色々ご指摘いただいた話と大変に深くかかわることだと思いますし、この説明で終わりではなく、例えば次回の委員会などで議論するなどしたらいかがでしょう。ちょっと時間のタイムスケジュールとしてそれだと前後関係うまくいきませんか？

松戸駅周辺整備振興課長

今ご説明した事業については、令和 6 年度当初予算にすでに承認いただいているものですので、我々としては今日ご説明した後に事務的に進めさせていただきたいと考えております。

横張委員長

非常に内容の濃いお話ですので、もう 1 度詳しくご説明いただき、そのことを踏まえながら、再度この新拠点に関して、さらにどうしたらいいのか、もう 1 回きちんとした議論をすべきなのではないだろうかと思っております。ここで、今ちょっと説明して、ありがとうございました、ということではちょっと重すぎる話じゃないかと思うのですがどうですか。

松戸駅周辺整備振興課長

先ほどご説明させていただいたとおり、令和 7 年度にはまちづくり委員会でご審議していただくことを前提に進めていきたいと考えております。今後の進め方については、委員長とご相談させていただきたいと考えております。

横張委員長

こちらからフィードバックすることもあるかと思いますので、連携を密にしながら進められたらと思っております。そういった意味では、これにつきましては、もう 1 回、皆さんに再度ご説明いただきつつ、議論するような形をもってその議論を進められたらというふうに思います。

はい。では、もう時間も超過しておりますので。では、本日本につきましては、以上で終わりたいと思います。では、傍聴された方々につきましては、本日はお聴きいただきましてあ

りがとうございました。

資料につきましては、お持ちいただいて結構でございますが、不要な場合には置いていただければと思います。では以上を持ちまして第16回松戸駅周辺まちづくり委員会を終了させていただきたいと思います。

司会

横張委員長、ありがとうございました。事務局より1点お知らせいたします。令和6年度以降の委員会及び部会の開催日程につきましては、横張委員長とご相談の上、決まり次第、メールもしくは電話でご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。本日は、ご多忙の中、貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして終了いたします。

この議事録の記載が真正であることを認め、署名する。

令和6年5月14日

松戸駅周辺まちづくり委員会

議事録署名委員 秋田 典子 委員
 田中 孝 委員